

繪ハガキ競技會記事 (第二十三回)

夕暮 (意匠)

櫻 (技術)

一等	歸鴉	大橋 三平	野道の花	和賀井 恂
二等	夕暮の歌	榎本 滋	山さくら	久保 周一
三等	綾瀬の夕	森 榮一	花一枝	赤城 泰舒
四等	夕暮の曲	金江 龜	書物と花	小林誠之助
五等	月に蝙蝠	相田 寅彦	花瓶の櫻	牛木 勇
六等	夕雲	加藤 和夫	満開	加藤 和夫
七等	晚歸	後藤 百次	路傍の花	相田 寅彦
八等	月に蝙蝠	小林誠之助	同	中村 愛亮
九等	夕雲	赤城 泰舒	八重櫻	山田 全一
十等	王子の夕ぐれ	赤壁 徳彦	同	村上 英雅
十一等	點燈	中尾 正幹	崖上の花	榎本 滋
十二等	夕の富士	森 幹男	花の枝	吳 文平
十三等	夕陽	山田 全一	吉野櫻	吉井 孤雁
十四等	夕暮の川	吉井 孤雁	花一枝	中尾 正幹
十五等	夕焼	吳 文平	垣の内	大橋 三平
十六等	晚歸	中尾 春雄	花盛り	津雲 孝
十七等	れぐら入り	和賀井 恂	蕾の花	柳田春次郎
十八等	歸帆	鳥谷 春山	花一枝	後藤 百次
十九等	晚歸	平澤 輝吉	同	松山 忠三
二十等	月に蝙蝠	北村 霞峰	落花	飯田 紫山

以下略

四月二十九日開會出品者三十六人惣數百三十七枚選評の結果上記の如し

今回は平生に比して出品數も少なかりしが意匠には佳作と認むべきもの殆どなかりしその一等と雖も平凡を免れず只色調の穩かなりし爲めに選に上れり二等は手際よき出來なりしが夕暮の歌三つ迄並べしはあまりうるさかりし五等は面白き圖案なりしも色の配合惡しく十一等はよき思付なれど技巧に欠くる處ありし技術(櫻)は存外傑作多く一等はよく櫻の趣を得たり二等三等又忠實の寫生と見るべく七等は繪として尤も優等なりしが主眼の櫻の描寫に欠點あり氏は東北寒地の人思ふに稿を寄するの時花未だ開かざりしなるべし

六月課題

菖蒲

(意匠)

雨

(技術)

六月二十日

×切

六月二十四日

開會

▲意匠 菖蒲は花にても葉にても差支なし技術雨は寫生を尙ふと例の如し

術雨は寫生を尙ふと例の如し